

令和5年度 医学部・薬学部 入学試験 英語 解説

出題意図について

全体を通じての出題意図は以下のとおり。

- 多種多様なテキストを的確に読み取り、理解する能力を評価する。
- そのテキストが表現媒体として、あるいはコミュニケーション媒体として旨とするところを、テキスト理解にもとづいて把握する能力を評価する。
- 英語ならびに日本語の語彙を理解し、運用する能力を評価する。
- 学んだ知識と身につけた技能を応用し、英語ならびに日本語で他者に伝えるべく表現する能力を評価する。

各問について

I

出典は、近代医学の歴史において屈指の偉人とされるウィリアム・ハーヴィを論じた、すでに定評ある歴史学的研究書である。

テキストの趣意は、累積進歩史観にもとづいた現代至上主義を自覚し相対化して、ハーヴィならハーヴィ本人を、その思考を、ていねいに把握することの必要性である。これは、とりわけ自然科学の営みを理解するにあたっては、常に意識されるべき事柄である。

設問は標準的な形式である。テキストの論旨および議論の流れをしっかりと追えれば対応できるだろう。

問1、3、4、5

論述の展開を理解したうえで、語彙や構文を、さらには文章としての論理構造を、的確に読み取り適切な日本語で表現できるかを評価する。どの問題も、英文の構造を判別して読解する能力を、また、文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- 語彙の多様な用法の理解
- 不定詞を用いた表現の理解
- 分詞を用いた表現の理解
- 関係代名詞節の理解
- よく用いられる基礎的な構文の理解

問2

議論展開にとって重要な文言を読み取ったうえで、テキストの論旨を理解できているかを評価する。

II

人間は、言語によるコミュニケーションを行うことで、技術や文明を発展させてきた。しかし、私たちがふだん行っているコミュニケーションは、読み書きで表せるような言語のみでなされているわけではない。声の調子、表情、くしゃみの仕方などでさえ、相手に自分の意思や感情を伝える役割を担っている。テキストは、そのような人間のコミュニケーションと言語について、改めて捉えなおす機会を与えてくれるものである。想像力を働かせながら、筆者の考えを把握し読み進めることが求められる。

問 1、2

筆者が言語やコミュニケーションをどのようなものだと考えているかを読み取ったうえで、抽象的な内容を理解し、適切な日本語で表現できるかを評価する。主な評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- 文構造の理解
- 基本的な語句の理解
- 分詞を用いた表現の理解
- 関係代名詞節の理解
- so...that 構文の理解

問 3

抽象的な表現が具体的に指す内容を、前後の文脈の主旨や論理構造から読み取り、適切な日本語で表現できるかを評価する。

問 4

letters

問 5

テキストの主旨を理解したうえで、文構造を捉えられているか、例として述べられている日常的な状況について想像し、それらを適切な日本語で表現できるかを評価する。

問 6

- A. (ウ)
- B. (イ)
- C. (ア)

III

出題されたテキストは、巧みな文体で書かれた小説からの引用である。地の文

や会話文から、場の状況や人間の心理を読み取ることができるかどうかを試される。

問1

筆者はまず端的に抽象的な表現をしてから、それに続いて具体的な詳細を導いている。その書き方の流れに気づくことができるかを評価する。

問2

(ウ)

問3、4

テキストの文脈を理解したうえで、文構造や語彙を読み取り、適切な日本語で表現できるかを評価する。評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- 指示代名詞の理解
- 仮定法の理解
- 関係代名詞節の理解
- 副詞の理解

問5

登場人物の置かれた立場や状況を理解できているかを評価する。

問6

friends

問7

misadventure

IV

出典は、音楽批評などで活躍した批評家のエッセイである。日本語特有の表現を柔軟に解釈し、基礎的な英語の知識と論理的思考力を駆使して、英語で表現することができるかを評価する。